

ネットワークの中立性に関する懇談会

2007年3月14日

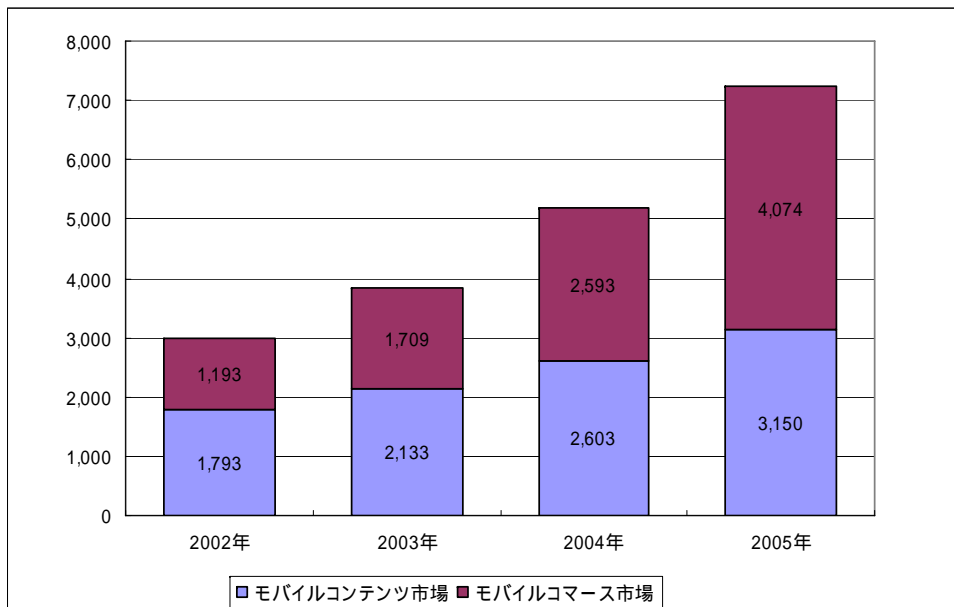


モバイル・コンテンツ・フォーラム

<http://www.mcf.to>

<http://www.mobilecontentforum.org>

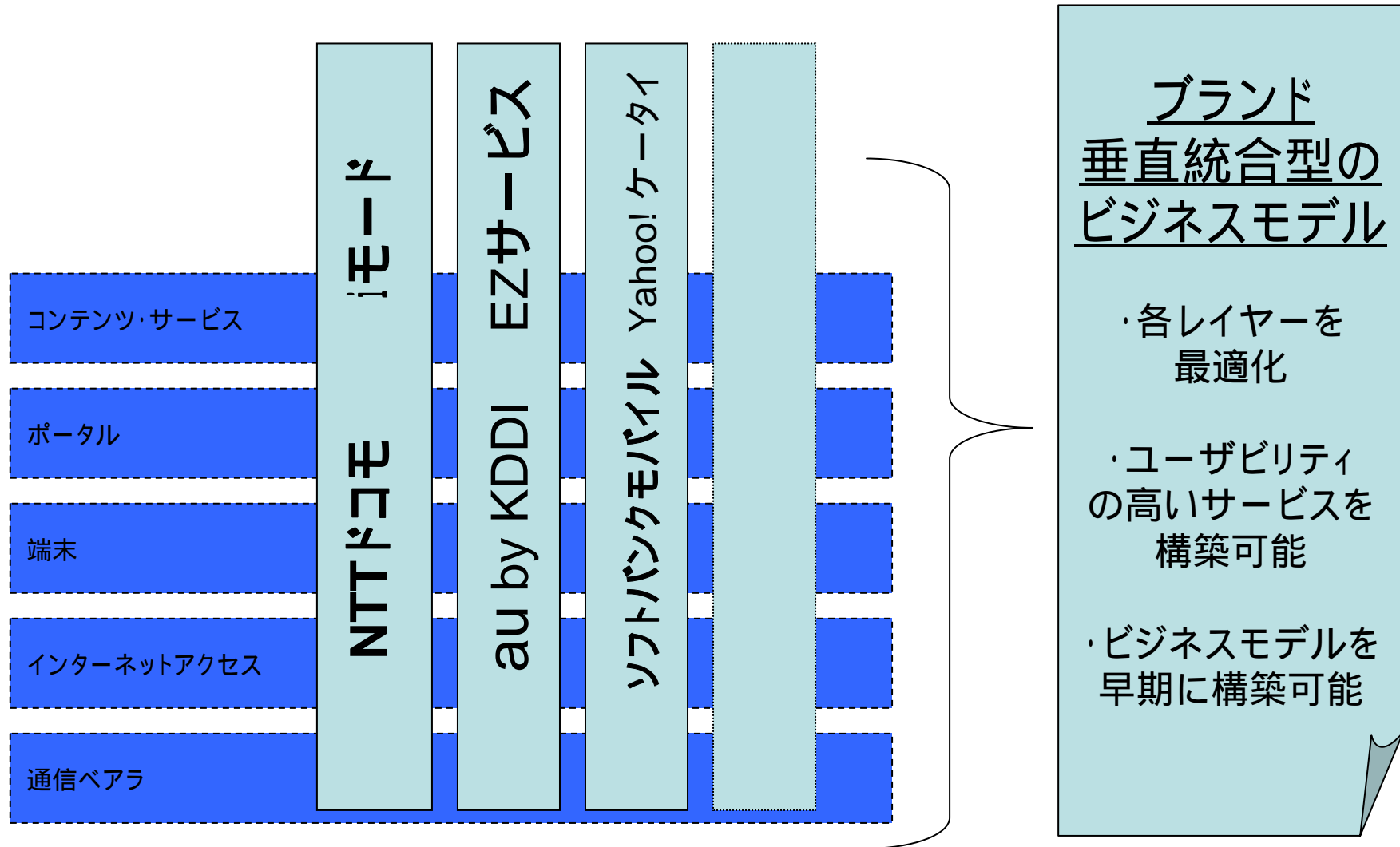
モバイルコンテンツ関連市場は急激に拡大している



| 市場カテゴリー | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 前年度比 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|------|
| モバイルコンテンツ市場 | 1,793 | 2,133 | 2,603 | 3,150 | 121% |
| モバイルコマース市場 | 1,193 | 1,709 | 2,593 | 4,074 | 157% |
| 合計 | 2,986 | 3,842 | 5,196 | 7,224 | 139% |

総務省発表

モバイルのビジネスモデルとブランド



ネットワークの利用の公平性

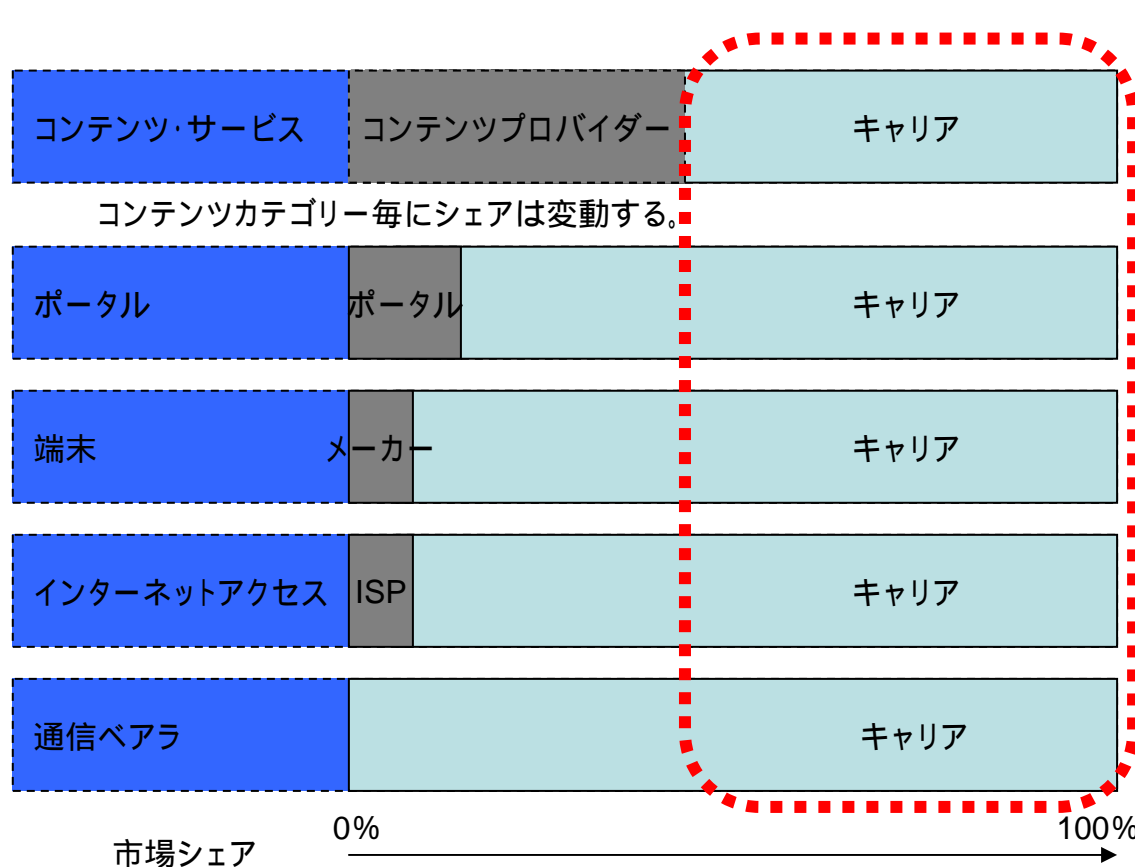
- ・通信レイヤーの他のレイヤーに対する中立性

ネットワークのコスト負担の公平性

- ・通信網増強のためのコストシェアリングモデルの中立性

垂直統合型モデルでの中立性の論点

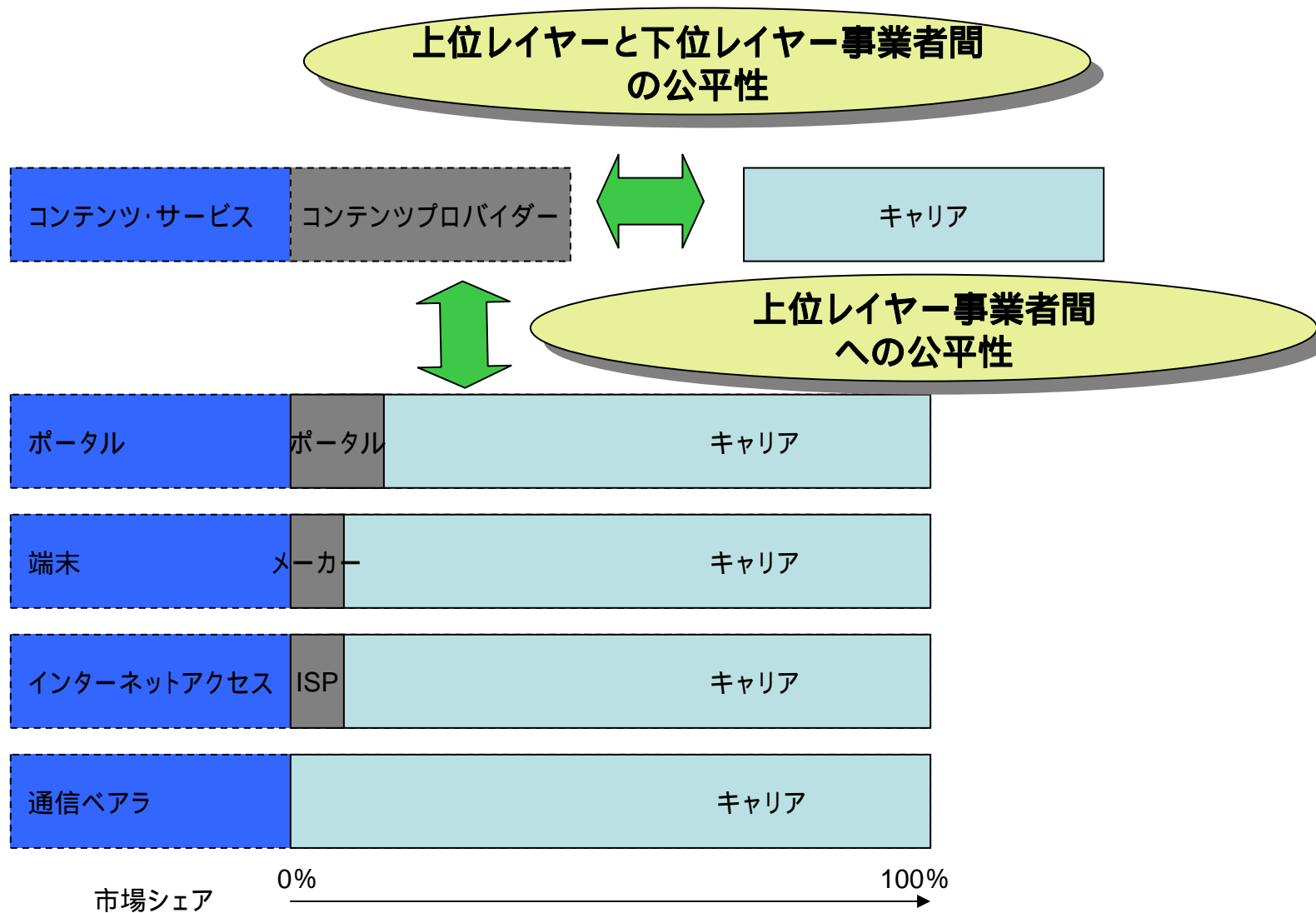
日本のモバイルビジネスを拡大した垂直統合型モデルは認められるべきであるが、優越的な地位にある下位レイヤーが上位レイヤーに中立性を維持するため必要なポリシーとは



各レイヤーで事業者間の
公平な競争環境
が確保されるべき

ユーザーが事業者間の
競争メリットを
享受できるように
選択ができる

垂直統合型モデルでの中立性の論点



ネットワーク利用の公平性

上位レイヤーと下位レイヤー事業者間の公平性

- ・下位レイヤーが独占あるいは寡占状態にある場合は、公正競争の観点からも無条件に公平性が確保されることが必要である。

上位レイヤー事業者間への公平性

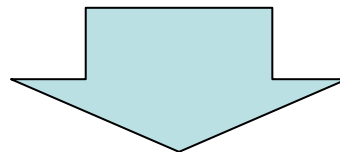
- ・公正なポリシーに基づく公平性が確保されることが必要
(下位レイヤーへ障害を与える場合はネットワークの利用を制限する等)

通信料金が従量制の時代にはインフラ増強コストをユーザーが負担していた。

コンテンツ・アプリケーションレイヤーからは通信料金のキックバック(コンテンツ制作コスト負担)の要望があった。

通信料金が定額制の時代になり、ユーザーへコストの転嫁ができなくなった。

ネットワークレイヤーからコンテンツ・アプリケーションへネットワーク構築コスト負担の要望がでてきた。



**ネットワークコストの最適負担を検討することは必要であるが
両方の視点で見ることが必要である。**

通信 × モバイル

固定 × モバイル

WiFi × モバイル

CableTV × モバイル

メディア × モバイル

放送 × モバイル

既存メディア × モバイル

ITS × モバイル

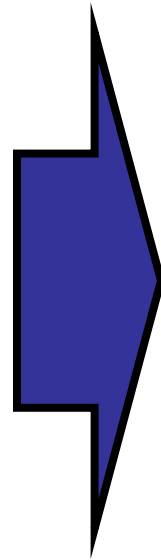
インターネット × モバイル

ISP × モバイル

ポータル × モバイル

ソリューション × モバイル

ブランド × モバイル



コンテンツビジネスに必要な機能

認証システム(識別情報)

課金アプリケーション

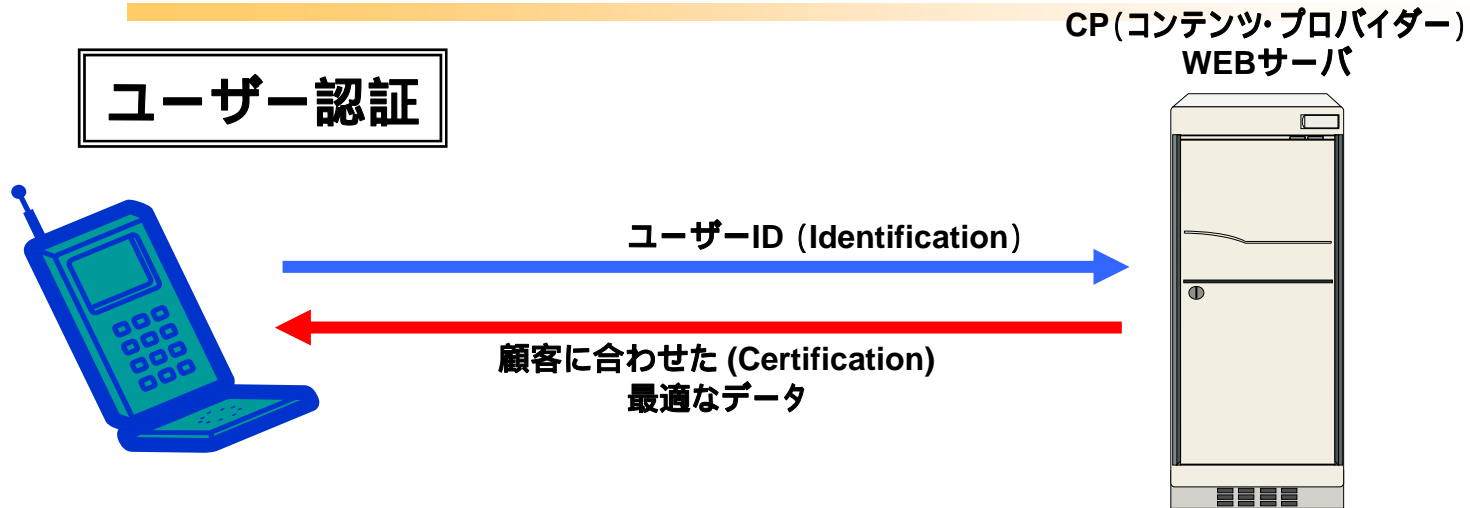
ブランド機能

プロモーション機能

ナビゲーション機能

モバイルでのユーザー認証システム

ユーザー認証



ユーザーIDは識別情報 (Identification) でユニーク性を提供するだけで個人情報等は含まない。

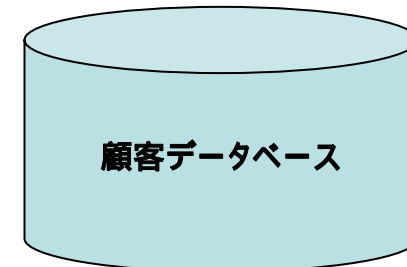
モバイルコンテンツビジネスでは、少額の課金システムが実現されたため、月額定額(100円～300円)のユーザー課金モデルが急速に拡大した。

このモデルを成立させるためには、ユーザーに負担を掛けない認証システムが必要条件である。携帯電話ではアクセスした顧客を認証するためにユニークにユーザーを特定する識別情報としてユーザーID (PCではCookieで同様な機能を実現) を利用している。

現状、ユーザーIDは、一部キャリアを除いて一般サイトでの利用は不可能である。

顧客との契約
・コンテンツの内容
・契約期間
・価格
etc.

ユーザーID
(識別情報)



ユーザー識別情報開放の必要性

プラットフォーム機能のオープン性の確保として 識別情報(ユーザーID)の開放が必要

時系列認証

現在、携帯電話のコンテンツビジネスで主流になっている月額定額制のサブスクリプションモデルを実現するためには、簡易な認証で契約期間中の利用を認証する事が必要条件。そのためにはユーザー識別システム(ユーザーID)の開放が必要である。

メディア列認証

ユビキタス環境のコンテンツビジネスでは、一度の認証で携帯電話、PC、放送等のメディアを横断して利用できるシングル・サインオンの実現が求められている。そのためにはユーザー識別システム(ユーザーID)の開放が必要である。

キャリア列認証

ナンバーポータビリティが実現されるが、コンテンツポータビリティは、提供されておらず、キャリア変更にともないユーザーとCPとのコンテンツ提供契約は強制解約される。ユーザーIDの開放と、ユーザーIDのポータビリティを実現することで、コンテンツポータビリティも実現する必要がある。

垂直統合型モデルの弊害

未成年者を有害サイトから守る目的で提供されているフィルタリングでは、ユーザーが利用したい良質なサイトを利用できない場合もある。(ユーザーが選択できない。)

| キャリア | NTTドコモ | | | KDDI | ソフトバンクモバイル |
|---------|-------------------------------|---|--|--|---|
| サービス名称 | キッズiモード | キッズiモードプラス | 時間制限 | EZ安心アクセスサービス | ウェブ利用制限 |
| サービス概要 | iモードメニューサイト以外のすべてのサイトへのアクセス不可 | iモードメニューサイトおよび出会い系・ギャンブル系などを除く一般サイト (カテゴリの設定はネットスター(株)が提供するURL情報に基づく) | 22時～翌朝6時までのiモードを利用したすべてのwebアクセスを制限 (左記2サービスと組み合わせて利用することも可能) | EZwebからのアクセスを青少年向けのコンテンツに制限。PCサイトビューアー及び出会い系サイトや成人向けサイトなどが存在する一般サイトへのアクセスは一律規制 | アダルトサイトや出会い系サイトなど「特定のURL」へのアクセスを制限 (特定URLはネットスター(株)の基準に基づく) |
| 月額使用料 | 無料 | 無料 | 無料 | 無料 | 無料 |
| 対応機種 | iモード対応全機種 | iモード対応全機種 | iモード対応全機種 | EZ WINコース、EZweb multiコース | SoftBnk 3G (V801SA V801SHを除く) |
| 確認必要な対象 | 新規購入かつ20歳未満 | 新規購入かつ20歳未満 | 新規購入かつ20歳未満 | 新規購入かつ20歳未満 | 新規契約かつ18歳未満 |

公式サイトが
利用可能

特定カテゴリ
を排除

公式サイトが
利用可能

特定カテゴリ
を排除

コンテンツレイヤーが通信事業者から責任分界されていないので、多様なフィルタリングが提供されないと状況になっている。
本来であれば、通信事業者、コンテンツ事業者、ユーザーで責任分界するべき